



# さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

2月号

令和6年1月31日  
横浜市立境木小学校  
校長 清見克明

## 能登半島地震から1か月

校長 清見克明

1月1日に石川県で最大震度7を観測した能登半島地震が発生してから1か月になりました。未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされています。改めて、今回の震災で犠牲になられた方々へお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様へお見舞いを申しあげ、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

今回の地震では、大規模な火災が発生した、津波の到着時間が早かった、耐震補強のされていない住宅があった、多くの孤立地域が出た、断水や停電の復旧に時間がかかった、避難所のトイレ問題や感染症対策、子ども達の学習保障など、多くの課題が報道されていました。

それらの課題や教訓を今後に生かして防災意識を持って行動したいと思います。



また、1995年の「阪神・淡路大震災」が発生して29年になりました。29年前の1月17日の朝、神戸の街の数か所から火の手が上がり、黒煙が上がっている様子がテレビに映し出されていました。家屋の倒壊をはじめ、阪神高速道路が倒壊し、地割れや液状化、避難所の様子など、地震の被害が次々と報道されました。本年も地震発生時刻の午前5時46分に、多くの場所で、多くの人たちによって、黙とうが行われました。本年の追悼会場に浮かび上がった「1995 ともに 1.17」の文字は、能登半島地震を受け、公募で寄せられた「一人ではない」「共に助け合おう」などの思いが反映されている、という説明がされていました。

境木小学校では、1月18日の朝、地震と、それに伴う火災が発生したという想定での避難訓練をおこないました。能登半島地震や阪神・淡路大震災では、建物や高速道路などが倒壊して犠牲者が出たこと、朝食の準備などで、火災が多数発生したこと、いつ起こるかもしれない、大規模地震に備え、自分の身を守るために、今、どんな行動をするべきか、自分でも考え行動することなどを話しました。

また、2年生の担任の渡辺華奈教諭が、能登半島地震が発生したとき新潟県にいて、震度5強の地震が発生した時の体験や、地震に対して日頃、心掛けたいことなどお話していただきました。

横浜市域内で、震度5強以上の地震が観測された時、境木小学校では、保土ヶ谷区の地域防災拠点が開設されます。避難が必要な方は、地域ごとに助け合って参集してください。各ご家庭でも実践されていると思いますが、食料や水等の備蓄の大切さを改めて感じました。